

チャレンジ精神に満ちた
パッケージングソリューション・プロバイダー

2022年12月期第1四半期決算説明資料



竹本容器株式会社

(東証プライム市場 4248)

2022年4月28日

資料構成

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

2. 2022年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



1. 2022年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ①

【業績】

- 連結売上高は、36億6百万円（前年同期比5.2%減）
- 営業利益は、2億77百万円（前年同期比44.9%減）
- EBITDAは、5億25百万円（前年同期比30.2%減）

【特徴】

- 2021年後半の国内受注が低調に推移した影響で1Qの国内売上は減少。中国もゼロコロナ政策の消費マインドの冷え込みによる受注減の影響を受け、売上が低調
- 一方、サステナビリティについては、お客様のご要望に対応したバイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、詰替え容器などの伸びが牽引し、環境対応容器売上が3億3百万円(連結売上高の8.4%)と前年同期比18.6%増に拡大
- 資源高の影響を受け、原材料費及び水道光熱費については国内・海外とも増加

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ②

【日本】

- 売上については昨年後半の新型コロナ第5波により新規・リピート受注が低調に推移したことが影響し、26億69百万円(前年同期比7.6%減少)となったものの、お客様の環境意識の一層の高まりから環境対応容器売上が引き続き伸長
- 特に、バイオマス樹脂やリサイクル樹脂を使用した容器、詰替え容器については、大きく増加
- コスト面では資源高の影響を受け原材料費及び水道光熱費が増加し、粗利額が減少
- 営業利益については、生産性向上や販管費の抑制に取り組むも、粗利額減少の影響が大きく2億20百万円(前年同期比46.1%減少)と減益に

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

1Q業績総括 ③

【中国】

- 年初より、中国政府によるゼロコロナ政策（突然のロックダウンなど）懸念から、お客様側の発注も慎重になり、受注・売上とも低調に推移
- 3月後半より、ゼロコロナ政策により上海市を中心にロックダウンが実行され、上海の事務所・工場の稼働が停止するも1Q業績に与える影響は軽微
- 売上高は円換算額(1元 = 18.3円(前年同期は1元 = 16.3円))は増加したが、人民元ベースの売上減少幅が大きく、売上高は8億50百万円(前年同期比2.4%減少)
- 受注減少による生産稼働低下から粗利・営業利益も減少

【インド】

- インド化粧品市場が大きく伸長。アイテム数の多さなど当社の特徴が営業活動を通じて浸透したこともあり、1Qの新規顧客が34社と高水準に。売上は前年同期比90%増、計画比14%増と拡大
- 一方で、原油価格の変動と需要増加により原材料価格や労務費が上昇

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

今後の方向性

- 従来より「対処すべき課題」として掲げているように、デジタル戦略により圧倒的なスピードを実現し、環境に配慮した新製品を開発することで他社との差別化を図り、需要の変化に対応することで着実に売上と利益を確保していく
- 市場の需要動向や製品別のポジショニングを勘案した上で、製品毎に価格の見直しを進める
- WEBとリアルの営業を組合せた手法による提案営業の実施や、TOGETHER LABや合羽橋ショールームの利用を推進していく予定
- インドでは市場の拡大を受けて、生産設備の増強を検討
- オランダ（欧州市場）を端緒として、EC（WEB戦略）展開を準備中、日本を含むグローバル拠点において順次展開予定

資料構成

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

2. 2022年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



2. 2022年12月期第1四半期業績概要

2022年12月期第1四半期連結決算ハイライト

	2021年第1四半期 (1-3月期) ¥16.38/RMB ¥106.09/USD	2022年第1四半期 (1-3月期) ¥18.31/RMB ¥116.34/USD	前年同期比		2022年計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	百万円 3,803	百万円 3,606	百万円 ▲197	▲5.2%	百万円 ▲226	▲5.9%
営業利益	503	277	▲225	▲44.9%	▲74	▲21.2%
売上高営業利益率	13.2%	7.7%	▲5.5P	—	▲1.5P	—
経常利益	555	318	▲236	▲42.6%	▲41	▲11.5%
四半期純利益	364	201	▲162	▲44.7%	▲42	▲17.5%

減価償却費	249	248
原材料費	495	532
設備投資額	192	47
(うち 金型)	82	27
EBITDA	753	525
EBITDA比率	19.8%	14.6%

※収益認識基準の変更に伴い、2022年第1四半期から有償支給した支給品等に係る収益は認識しない方法に変更されております

2. 2022年12月期第1四半期業績概要

地域別グループ企業業績

百万円

日本	2021年第1四半期	2022年第1四半期	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	2,890	2,669	▲220	▲7.6%	▲224	▲7.8%
営業利益	410	220	▲189	▲46.1%	▲81	▲27.0%
営業利益率	14.2%	8.3%	▲5.9P	—	▲2.2P	—

中国	2021年第1四半期 ¥16.38/RMB	2022年第1四半期 ¥18.31/RMB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	871 (53)	850 (46)	▲21 (▲6)	▲2.4% ▲12.7%	▲33 (▲5)	▲3.8% ▲10.7%
営業利益	112 (6)	59 (3)	▲52 (▲3)	▲46.9% ▲52.5%	▲5 (▲0)	▲9.1% ▲15.6%
営業利益率	12.9%	7.0%	▲5.9P	—	▲0.4P	—

※ () 内はRMBベース:百万円

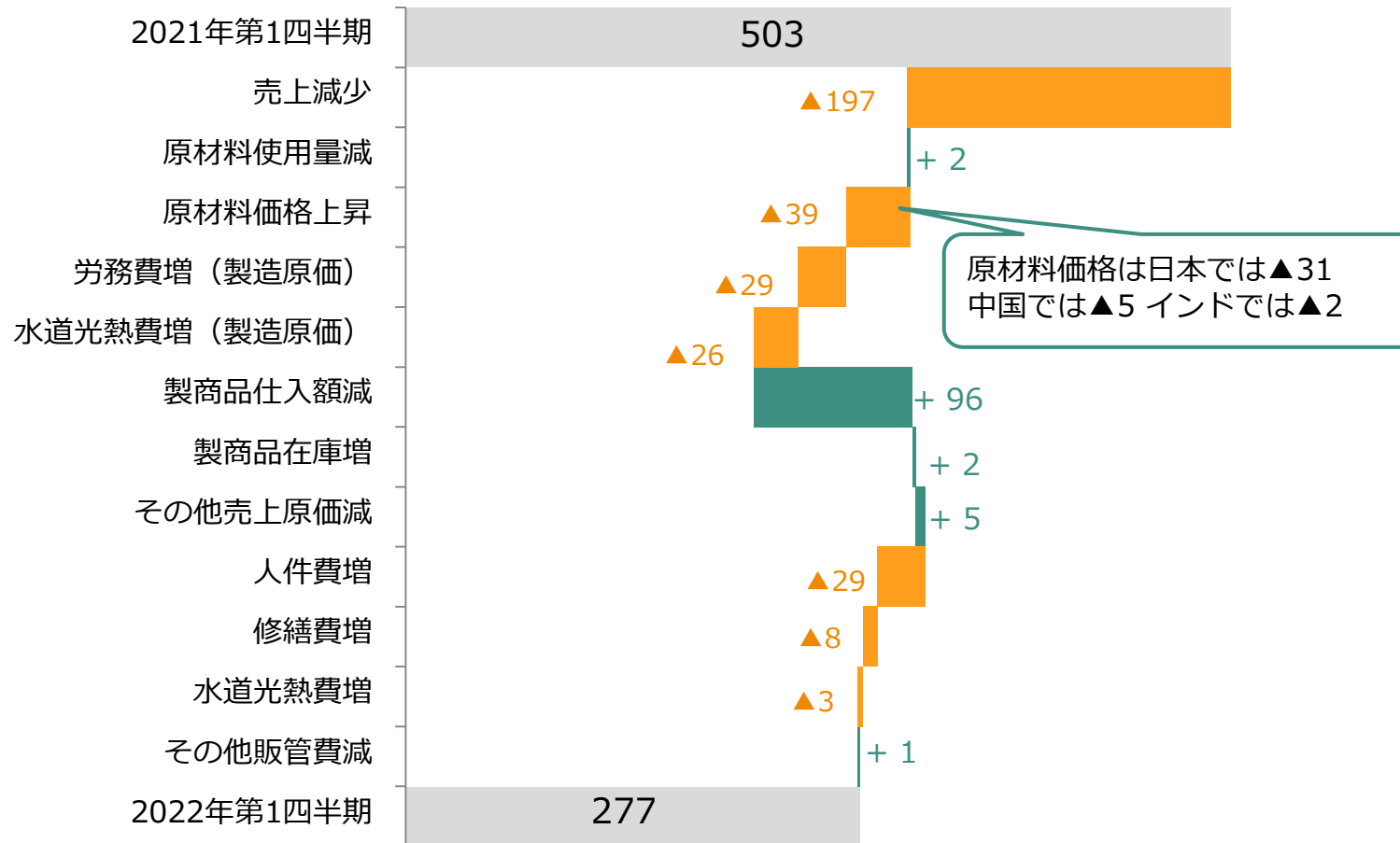
その他地域	2021年第1四半期 ¥106.09/US\$ ¥127.81/€ ¥1.47/INR ¥3.50/TB	2022年第1四半期 ¥116.34/US\$ ¥130.40/€ ¥1.56/INR ¥3.52/TB	前年同期比		計画比	
			増減	増減率	増減	増減率
売上高	100	145	+45	+45.2%	+26	+22.3%
営業利益	▲20	▲5	+15	—	+20	—

- ・国内の緊急事態宣言は解除となるも、前年後半の受注減少の影響から売上は2,669百万円にとどまる
- ・2022年1Q受注は前四半期比増加傾向にあるものの、世界情勢や資源高の影響もあり、先行きは不透明感あり
- ・ゼロコロナ政策による市民活動の制限で不安感が先行、顧客需要も低調に推移
- ・3月後半以降の上海市、昆山市などの行動制限で資材調達、製品輸送にも影響あり。2Q以降の受注・生産に支障が見込まれる
- ・アメリカは売上・営業利益とも計画比、昨年比増で推移。燃料費高騰による運送費増は懸念材料
- ・オランダは売上・営業利益とも計画比、昨年比減で推移。運送費の高騰が受注に影響
- ・インド国内化粧品市場が活況、製品拡充効果もあり、新規顧客を取込み、需要増。売上は計画比、昨年比増で推移。原油価格の高騰による原材料価格上昇対策として売価転嫁を推進

2. 2022年12月期第1四半期業績概要

2022年12月期第1四半期 営業利益の変動分析

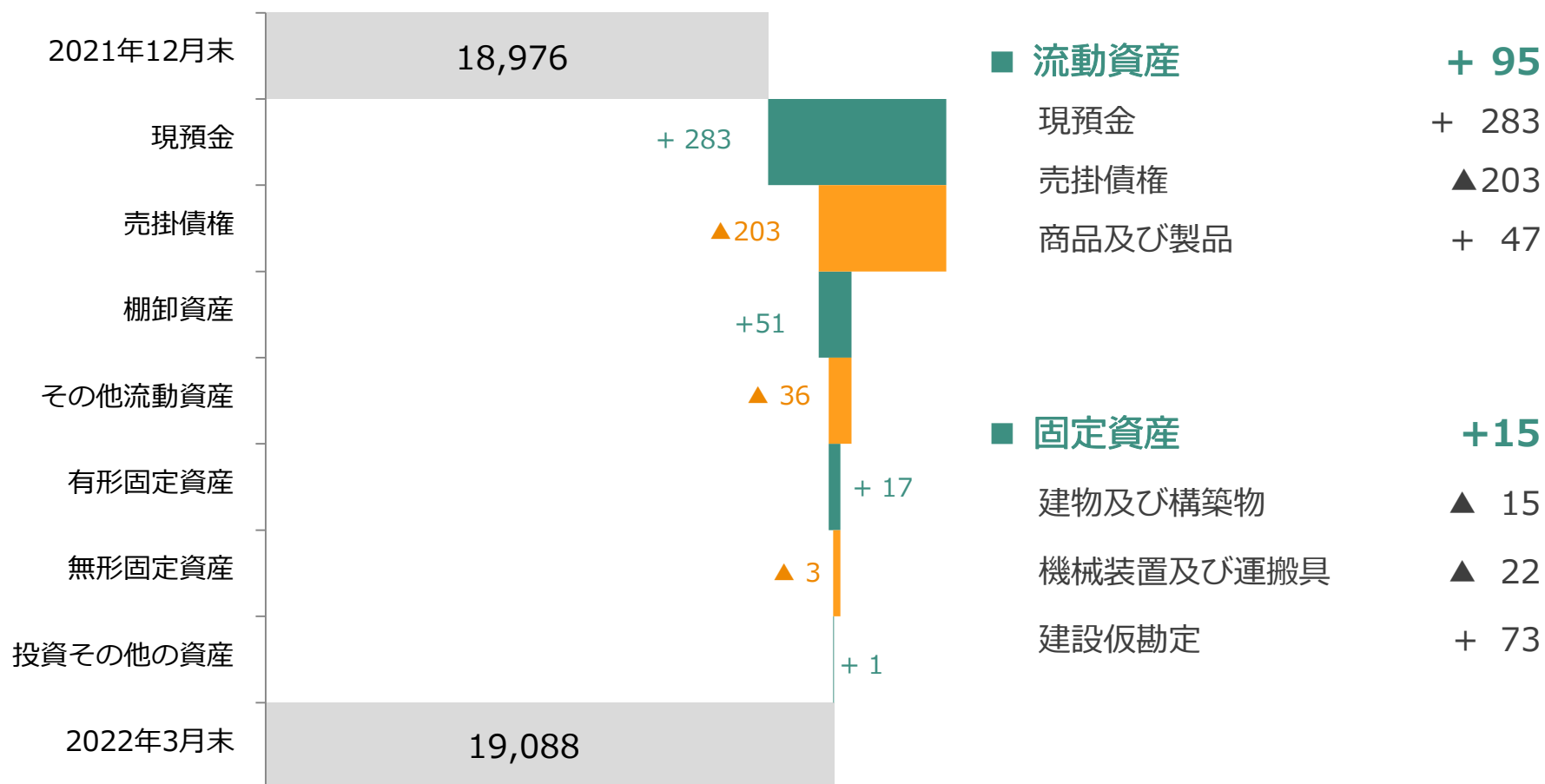
単位：百万円



2. 2022年12月期第1四半期業績概要

2022年12月期第1四半期 連結貸借対照表 資産の部

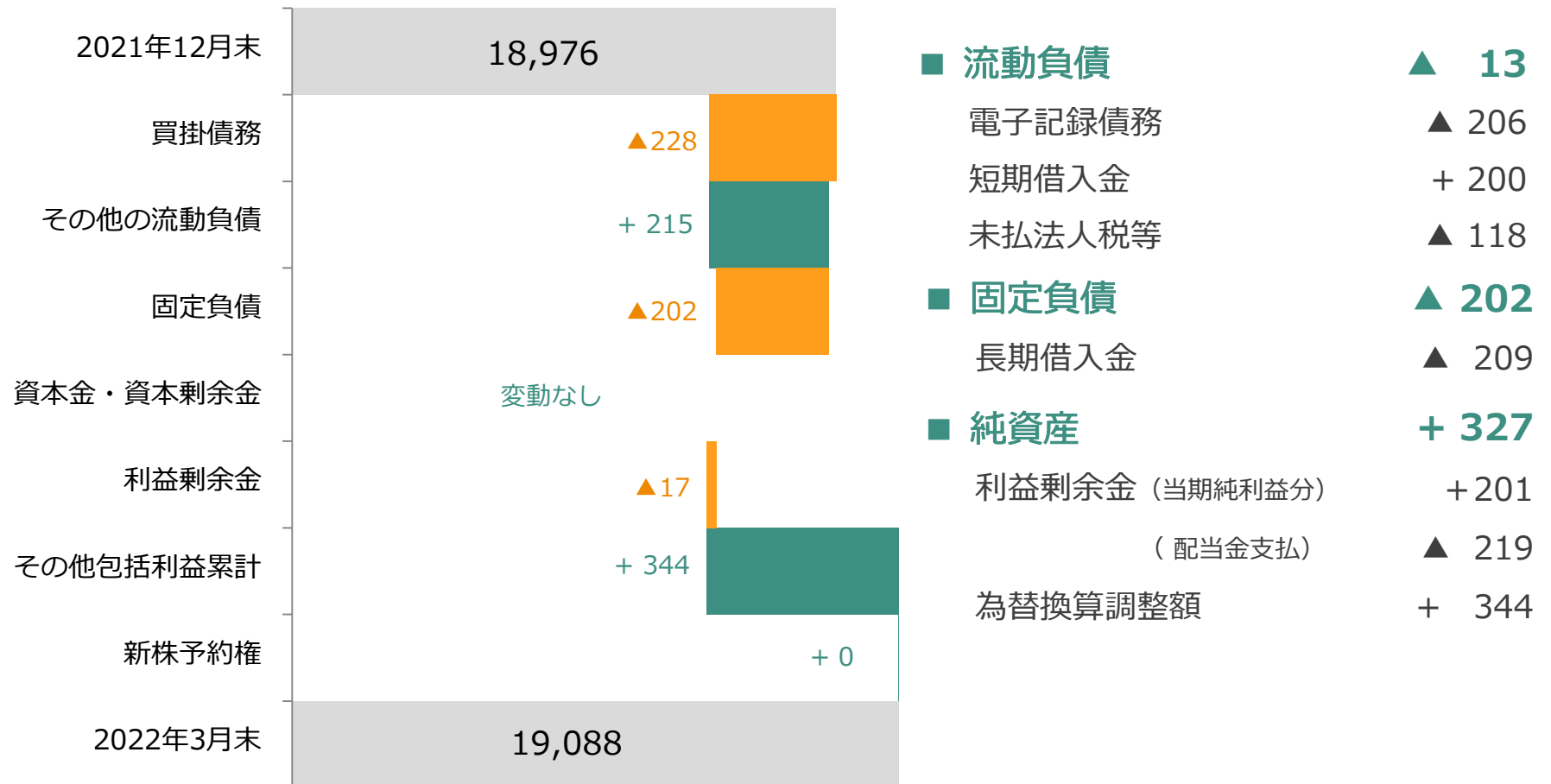
単位：百万円



2. 2022年12月期第1四半期業績概要

2022年12月期第1四半期 連結貸借対照表 負債・純資産の部

単位：百万円



資料構成

1. 2022年12月期第1四半期トピックス

2. 2022年12月期第1四半期業績概要

3. 参考資料



3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2020年からの四半期推移）

(百万円)

地域		2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期
日本	売上高	2,814	3,042	2,885	2,909	2,890	3,086	3,196	2,832	2,669
	粗利益	928	1,076	1,001	910	997	981	1,037	925	817
	営業利益	315	475	423	215	410	327	451	296	220
中国	売上高	604	954	852	736	871	911	875	886	850
	粗利益	177	337	270	208	254	282	204	230	229
	営業利益	56	207	132	76	112	126	35	60	59
欧米	売上高	50	32	50	50	61	105	66	64	70
	粗利益	11	8	9	12	13	21	14	12	17
	営業利益	▲3	▲4	▲1	▲0	0	7	1	▲6	4
その他 アジア	売上高	8	22	21	57	38	48	40	53	75
	粗利益	▲8	▲10	▲13	▲7	▲2	3	0	0	11
	営業利益	▲30	▲30	▲33	▲25	▲20	▲13	▲19	▲21	▲9
連結	売上高	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606
	粗利益	1,110	1,412	1,264	1,125	1,263	1,288	1,257	1,169	1,077
	営業利益	340	649	521	267	503	450	472	328	277

3. 参考資料

地域別グループ企業業績（2017年からの年間推移）

(百万円)

地域		2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
		金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率	金額	増減率
日本	売上高	11,018	+8.3%	12,063	+9.5%	11,741	▲2.7%	11,651	▲0.8%	12,005	+3.0%
	粗利額	3,344	+10.7%	3,669	+9.7%	3,730	+1.7%	3,917	+5.0%	3,942	+0.6%
	営業利益	1,077	+18.0%	1,242	+15.3%	1,277	+2.8%	1,429	+11.9%	1,485	+3.9%
中国	売上高	3,094	+17.2%	3,921	+26.7%	3,438	▲12.3%	3,149	▲8.4%	3,544	+12.5%
	粗利額	862	+7.9%	1,102	+27.8%	1,003	▲9.0%	993	▲1.0%	971	▲2.2%
	営業利益	337	+0.3%	515	+52.9%	433	▲15.8%	472	+8.9%	335	▲29.0%
欧米	売上高	350	+81.7%	289	▲17.5%	164	▲43.0%	184	+12.0%	297	+61.2%
	粗利額	82	+62.5%	69	▲16.1%	40	▲40.8%	41	+1.7%	62	+49.4%
	営業利益	34	+278.2%	▲8	—	▲31	—	▲10	—	3	—
その他 アジア	売上高	27	+735.3%	33	+23.4%	69	+106.5%	109	+57.7%	181	+64.7%
	粗利額	9	—	▲25	—	▲49	—	▲39	—	2	—
	営業利益	▲39	—	▲119	—	▲147	—	▲119	—	▲74	—
連結	売上高	14,201	+11.0%	16,022	+12.8%	15,196	▲5.2%	14,863	▲2.2%	15,776	+6.1%
	粗利額	4,301	+11.0%	4,817	+12.0%	4,726	▲1.9%	4,912	+3.9%	4,979	+1.4%
	営業利益	1,412	+12.2%	1,630	+15.5%	1,538	▲5.7%	1,778	+15.6%	1,754	▲1.3%

3. 参考資料

区分別販売実績（2020年からの販売先の主要事業内容ごとの四半期推移）

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期
化粧・美容	1,955	2,154	2,006	2,031	2,054	2,399	2,380	2,069	2,109
日用・雑貨	209	263	250	295	249	232	229	219	217
食品・健康食品	280	351	365	349	352	356	389	372	323
化学・医薬	187	240	235	243	243	244	340	267	200
卸、その他	791	983	890	776	903	845	765	859	754
合計	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606

区分別販売実績（2020年からの製商品の内訳ごとの四半期推移）

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期
スタンダード ボトル	2,611	3,014	2,763	2,725	2,791	2,980	2,993	2,920	2,754
ビスポーク	288	373	371	357	352	366	417	280	312
他社製品	472	551	567	567	583	679	634	489	497
材料その他	53	54	44	46	75	52	60	98	40
合計	3,425	3,993	3,747	3,696	3,803	4,079	4,105	3,787	3,606

3. 参考資料

区分別販売実績（2017年からの販売先の主要事業内容ごとの年間推移）

2018年はインバウンド需要もあり売上高は過去最高を記録。2019年は中国のEC規制がきっかけとなり化粧品需要が減少。さらに容器不足に起因する先行調達の反動もあり売上高は大幅減少。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外出機会の減少による化粧品向け需要が減少。一方、衛生関連用品の需要が増加。2021年は環境対応容器の伸びも後押しし化粧品向けを中心に売上が拡大

(百万円)

	2017年			2018年			2019年			2020年			2021年		
	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率	金額	構成比	増減率
化粧・美容	8,512	59.9%	7.9%	9,651	60.2%	13.4%	8,802	57.9%	▲8.8%	8,147	54.8%	▲7.4%	8,904	56.4%	9.3%
日用・雑貨	685	4.8%	9.6%	697	4.4%	1.8%	705	4.6%	1.0%	1,019	6.9%	44.5%	930	5.9%	▲8.7%
食品・健康食品	1,221	8.6%	5.8%	1,310	8.2%	7.3%	1,385	9.1%	5.7%	1,347	9.1%	▲2.8%	1,470	9.3%	9.1%
化学・医薬	661	4.7%	8.6%	838	5.2%	26.6%	812	5.3%	▲3.1%	906	6.1%	11.7%	1,096	7.0%	20.9%
卸、その他	3,119	22.0%	23.7%	3,523	22.0%	13.0%	3,490	23.0%	▲1.0%	3,442	23.2%	▲1.4%	3,374	21.4%	▲2.0%
合計	14,201	100.0%	11.0%	16,022	100.0%	12.8%	15,196	100.0%	▲5.2%	14,863	100.0%	▲2.2%	15,776	100.0%	6.1%

3. 参考資料

受注実績(2020年からの四半期推移)

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期
国内	3,439	3,184	2,916	3,037	3,380	3,474	2,600	2,924	2,904
海外	741	1,058	1,008	921	996	1,006	951	1,264	787
(うち中国)	656	1,008	922	803	875	869	872	1,070	676
連結合計	4,181	4,243	3,924	3,959	4,376	4,480	3,551	4,189	3,691

受注実績(2017年からの年間推移)

2018年はインバウンド需要もあり容器需要が旺盛で受注は増加。2019年は容器不足に起因する先行調達の反動と中国のEC規制の影響で受注は大きく低迷。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により外出機会が減少し、化粧品向け需要が減少するも衛生関連用品の需要が増加。2021年は環境対応容器の需要増あり。年度後半は第5波の影響もあり国内受注が減少

(百万円)

	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年	
	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率	受注高	増減率
国内	11,771	15.5%	13,608	15.6%	10,815	▲20.5%	12,454	15.2%	12,274	▲1.4%
海外	3,646	21.6%	3,875	6.3%	3,812	▲1.6%	3,597	▲5.6%	4,034	12.1%
(うち中国)	3,313	10.5%	3,610	9.0%	3,598	▲0.3%	3,258	▲9.5%	3,504	7.6%
連結合計	15,417	16.9%	17,484	13.4%	14,627	▲16.3%	16,051	9.7%	16,308	1.6%

3. 参考資料

為替レート (PL使用レート)

(百万円)

	2020年 第1四半期	2020年 第2四半期	2020年 第3四半期	2020年 第4四半期	2021年 第1四半期	2021年 第2四半期	2021年 第3四半期	2021年 第4四半期	2022年 第1四半期
円 / 元	15.59	15.38	15.37	15.48	16.38	16.67	16.79	17.04	18.31
円 / 米ドル	108.86	108.23	107.55	106.76	106.09	107.82	108.58	109.90	116.34
円 / ユーロ	120.08	119.31	120.93	121.88	127.81	129.89	129.87	129.91	130.40
円 / ルピー	1.51	1.47	1.46	1.45	1.47	1.48	1.48	1.50	1.56
円 / バーツ	3.48	3.43	3.41	3.42	3.50	3.50	3.45	3.44	3.52

3. 参考資料

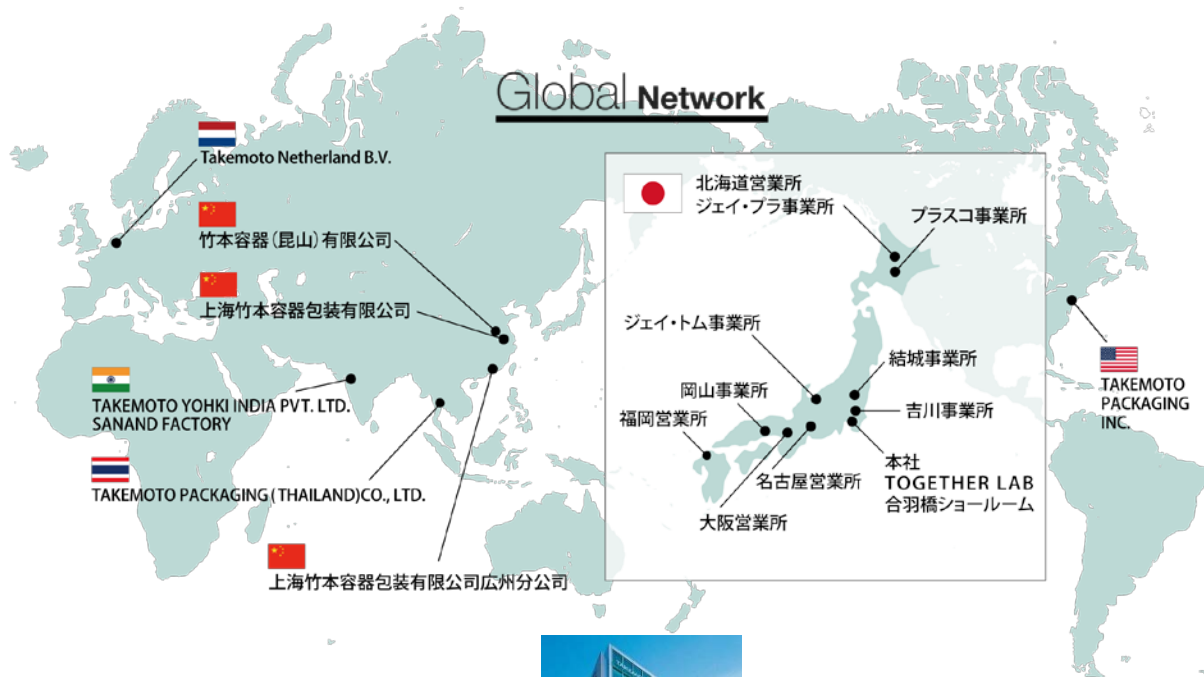
金型開発状況 金型の資産状況

3,745型の保有金型のうち約9割は償却済み、収益の源泉であり財務効率に優れる。オランダの金型は日本へ移動

		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(1Q)	(金型数)
日本	完成金型数	152	123	59	97	93	15	
	廃却・移動	▲30	▲54	▲80	▲99	▲16	▲4	
	保有金型数	2,273	2,342	2,321	2,319	2,396	2,407	
中国	完成金型数	106	96	74	84	89	10	
	廃却・移動	▲22	9	7	▲159	▲8	▲3	
	保有金型数	998	1,103	1,184	1,109	1,190	1,197	
オランダ	完成金型数	-	-	19	4	-	-	
	廃却・移動	-	-	-	-	▲23	-	
	保有金型数	-	-	19	23	-	-	
インド	完成金型数	-	18	27	48	45	3	
	廃却・移動	-	-	-	-	-	-	
	保有金型数	-	18	45	93	138	141	
連結	完成金型数合計	258	237	179	233	227	28	
	保有金型数	3,271	3,463	3,569	3,544	3,724	3,745	
		2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年(1Q)	(百万円)
連結取得金額		4,706	4,875	4,827	4,654	5,003	5,118	
連結減価償却累計額		▲4,048	▲4,147	▲4,175	▲4,163	▲4,453	▲4,581	
連結金型(純額)		657	727	651	490	550	537	
純額割合		14.0%	14.9%	13.5%	10.3%	11.0%	10.5%	



竹本容器株式会社
代表取締役社長
竹本 笑子



会社名 竹本容器株式会社
Takemoto Yohki Co., Ltd.

設立年月 1953年5月19日（昭和28年）

代表者 代表取締役社長 竹本 笑子

所在地 東京都台東区松が谷2丁目21番5号

事業内容 プラスチック製等の包装容器の製造及び販売

資本金 8億342万1,725円（2021年12月31日現在）

発行済株式数 12,529,200株（2021年12月31日現在）

単元株主数 7,541名（2021年12月31日現在）

グループ従業員数 890名（2021年12月31日現在）

上場市場 東京証券取引所プライム市場

[証券コード：4248]

ホームページ <https://www.takemotopkg.com>



JQA-FC0115
結城事業所
食品用プラスチック
容器の製造
(印刷製品は除く)



JMAQA-F 477
JMAQA-FC 376
岡山事業所
食品用プラスチック
容器の製造



本社



合羽橋ショールーム



大阪営業所・ショールーム



福岡営業所・ショールーム



名古屋営業所・ショールーム



北海道営業所



TOGETHER LAB

本資料に掲載されている将来に関する記述の部分は、資料作成時において当社が各種情報により判断した情報ではありますが、その内容を当社として保証するものではありません。

予想数字等は、今後の経済情勢、市場動向等の変化による不確実性を含有しております。また、本資料は投資勧誘を目的に作成したものではありません。投資を行う際は、ご自身のご判断で行って頂きますようお願い申し上げます。

すべては “ Standout ” な
パッケージングソリューション
創造のために